

## 2011年度

科目名	文化財研究法2A							
担当教員	犬木 努							
配当	文財2		コード	32100				
開期	前期	講時	水曜日2限	単位数 1				
授業テーマ	文化財研究の基本を学ぶ(その1)―自己の問題関心を高めるために							
目的と概要	文化財学科に入学して早1年。そろそろ、文化財学(考古学、歴史学、美術史学)の面白さ、難しさがわかつってきたことであろう。4月には下級生も入学してきた。のんびりしているとあと3年なんてあつという間である。このあたりで心機一転、自分を見詰め直す作業も必要であろう。前期の授業を通じて、自分が何を学びたいのか、何をしたいのか、そして自分に何が足りないのかを自問してほしい。この授業は、そのためのきっかけづくりの場にしたいと考えている。							
成績評価法	平常点(30%)、授業中の発表内容(70%)などを総合して行う。							
テキスト	使用しない。授業時に適宜プリントを配布する。							
参考書	授業中に適宜指示する。							
履修に当たっての注意・助言 /準備学習	授業中に参考図書を指示された場合には、事前にきちんと読みこなしておくこと。							
講義計画								
「文化財学」という学問分野の「厚み」「深さ」を多少なりとも体感してもらうべく、先行研究への正しいアプローチについて習得することを目標とする。								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の数回は文化財学の基本理念についての講義を行う。</li> <li>・あとは、文化財学の基本文献をいくつか選び、読み進めていく。毎回、担当者を決めて発表形式で授業を行う。</li> </ul>								
※授業回数は、前期に隔週で7～8回を予定している。								
※このほか、その時々の新発見を話題にしたり、実際の遺物を用いながら、考古遺物の観察方法にも触れる。								